

しゃかい りかい  
社会の理解

もんだい つぎ かつどう がいとう  
問題 7 次のうち、セルフヘルプグループ(self-help group)の活動に該当するもの  
もっと てきせつ えら  
として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 断酒会  
だんしゅかい
- 2 施設の社会貢献活動  
しせつ しゃかいこうけんかつどう
- 3 子ども食堂の運営  
こ しょくどう うんえい
- 4 傾聴ボランティア  
けいちょう
- 5 地域の町内会  
ちいき ちょうないかい

もんだい とくていひえいりかつどうほうじん ほうじん かん つぎ きじゆつ もっと てきせつ  
問題 8 特定非営利活動法人(NPO法人)に関する次の記述のうち、最も適切な  
えら  
ものを1つ選びなさい。

- 1 社会福祉法に基づいて設置される。  
しゃかいふくしほう もと せっち
- 2 市町村が認証する。  
しちょうそん にんしょう
- 3 保健、医療又は福祉の増進を図る活動が最も多い。  
ほけん いりょうまた ふくし ぞうしん はか かつどう もっと おお
- 4 収益活動は禁じられている。  
しゅうえきかつどう きん
- 5 宗教活動を主たる目的とする団体もある。  
しゅうきょうかつどう しゆ もくてき だんたい

もんだい ちいきふくし せいきこうはん はじ ひんこんちいき す こ じったい  
問題 9 地域福祉において、19世紀後半に始まった、貧困地域に住み込んで実態  
ちょうさ おこな じゅうみん きょういく せいかつじょう えんじょ おこな もっと てき  
調査を行いながら住民への教育や生活上の援助を行ったものとして、最も適  
せつ えら  
切なものを1つ選びなさい。

- 1 世界保健機関(WHO)  
せかいほけんきかん
- 2 福祉事務所  
ふくしじむしょ
- 3 地域包括支援センター  
ちいきほうかつしえん
- 4 生活協同組合  
せいかつきょうどうくみあい
- 5 セツルメント

もんだい しゃかいふくしきそこうぞうかいかく かん つぎ きじゆつ てきせつ えら  
問題 10 社会福祉基礎構造改革に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びな  
さい。

- 1 社会福祉法が社会福祉事業法に改正された。  
しゃかいふくしほう しゃかいふくしじぎょうほう かいせい
- 2 利用契約制度から措置制度に変更された。  
りようけいやくせいど そちせいど へんこう
- 3 サービス提供事業者は、社会福祉法人に限定された。  
ていきょうじぎょうしゃ しゃかいふくしほうじん げんてい
- 4 障害福祉分野での制度改正は見送られた。  
しょうがいふくしぶんや せいどかいせい みおく
- 5 判断能力が不十分な者に対する地域福祉権利擁護事業が創設された。  
はんだんのうりよく ふじゅうぶん もの たい ちいきふくしけんりようごじぎょう そうせつ

もんだい 11 Cさん(77歳, 男性)は, 60歳で公務員を定年退職し, 年金生活をしている。持病や障害はなく, 退職後も趣味のゴルフを楽しみながら健康に過ごしている。ある日, Cさんはゴルフ中にけがをして医療機関を受診した。

このとき, Cさんに適用される公的医療制度として, 正しいものを1つ選びなさい。

- 1 国民健康保険
- 2 後期高齢者医療制度
- 3 共済組合保険
- 4 育成医療
- 5 更生医療

もんだい 12 次のうち, 介護保険法に基づき, 都道府県・指定都市・中核市が指定(許可), 監督を行うサービスとして, 正しいものを1つ選びなさい。

- 1 地域密着型介護サービス
- 2 居宅介護支援
- 3 施設サービス
- 4 夜間対応型訪問介護
- 5 介護予防支援

もんだい しょうがいしゃさべつかいしょうほう かん つぎ きじゆつ てきせつ えら  
問題 13 「障害者差別解消法」に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びな

さい。

- 1 法の対象者は、身体障害者手帳を交付された者に限定されている。
- 2 合理的配慮は、実施するときの負担の大小に関係なく提供する。
- 3 個人による差別行為への罰則規定がある。
- 4 雇用分野での、障害を理由とした使用者による虐待の禁止が目的である。
- 5 障害者基本法の基本的な理念を具体的に実施するために制定された。

ちゅう しょうがいしゃさべつかいしょうほう しょうがい りゆう さべつ かいしょう すいしん かん  
(注) 「障害者差別解消法」とは、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する  
ほうりつ  
法律」のことである。

もんだい しょうがいしゃそうごうしえんほう きてい いどう かん しえん せつめい もっと  
問題 14 「障害者総合支援法」に規定された移動に関する支援の説明として、最も  
てきせつ えら  
適切なものを1つ選びなさい。

- 1 移動支援については、介護給付費が支給される。
- 2 行動援護は、周囲の状況把握ができない視覚障害者が利用する。
- 3 同行援護は、危険を回避できない知的障害者が利用する。
- 4 重度訪問介護は、重度障害者の外出支援も行う。
- 5 共同生活援助(グループホーム)は、地域で生活する障害者の外出支援を行う。

ちゅう しょうがいしゃそうごうしえんほう しょうがいしゃ にちじょうせいかつおよ しゃかいせいかつ そうごうてき しえん  
(注) 「障害者総合支援法」とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援  
ほうりつ  
するための法律」のことである。

問題 15 Dさん(80歳, 男性, 要介護2)は, 認知症(dementia)がある。訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用しながら一人暮らしをしている。

ある日, 訪問介護員(ホームヘルパー)がDさんの自宅を訪問すると, 近所に住むDさんの長女から, 「父が, 高額な投資信託の電話勧誘を受けて, 契約しようかどうか悩んでいるようで心配だ」と相談された。

訪問介護員(ホームヘルパー)が長女に助言する相談先として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 公正取引委員会
- 2 都道府県障害者権利擁護センター
- 3 運営適正化委員会
- 4 消費生活センター
- 5 市町村保健センター

問題 16 災害時の福祉避難所に関する次の記述のうち, 適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護老人福祉施設の入所者は, 原則として福祉避難所の対象外である。
- 2 介護保険法に基づいて指定される避難所である。
- 3 医療的ケアを必要とする者は対象にならない。
- 4 訪問介護員(ホームヘルパー)が, 災害対策基本法に基づいて派遣される。
- 5 同行援護のヘルパーが, 災害救助法に基づいて派遣される。

問題 17 「感染症法」に基づいて、結核(tuberculosis)を発症した在宅の高齢者に、医療費の公費負担の申請業務や家庭訪問指導などを行う機関として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 基幹相談支援センター
- 2 地域活動支援センター
- 3 保健所
- 4 老人福祉センター
- 5 医療保護施設

(注) 「感染症法」とは、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」のことである。

問題 18 Eさん(55歳, 女性, 障害の有無は不明)は、ひきこもりの状態にあり、就労していない。父親の年金で父親とアパートで暮らしていたが、父親が亡くなり、一人暮らしになった。遠方に住む弟は、姉が家賃を滞納していて、生活に困っているようだ、家主から連絡を受けた。

心配した弟が相談する機関として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 地域包括支援センター
- 2 福祉事務所
- 3 精神保健福祉センター
- 4 公共職業安定所(ハローワーク)
- 5 年金事務所